

事業概要【認知獲得から選ばれ移住者も市内若者も住み続けられる西予市へ】

申請者	愛媛県西予市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	72,452千円 (24,064千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 西予市の移住人口、交流人口、関係人口の拡大を図るために、消費行動を起こす際の入り口となる認知獲得により動機付けを行い、観光や市内特産品の購買、関係人口や移住者獲得につなげる。 - 認知獲得を狙ったシティプロモーションにより流入した移住希望者に対して、地域・仕事・住まいのマッチング、移住後の生活に関するサポート一連の機能を西予市移住定住交流センターに集約させ、検討時期から地域定着まで継続的な支援を可能にする。 - 二地域居住希望者、教育移住希望者等を視野に入れ、移住体験施設の充実やネット環境の整備などを行うとともに、体験や就農研修事業を地域に一部担っていただくことで、地域の魅力を体験してもらい生活等不安解消につなげる。 - 市内若者の都市部への片道切符を解消するため、市内で働くことや地元企業への理解を深める機会をつくる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市に縁のある著名人に市の魅力を広くPRしてもらうことで、市内観光資源や関係者、特産品、移住先として取材される力を向上させる基盤をつくる。市内若者の職業観の意識改革や地域おこし協力隊の自立支援の強化を行うことで、若者の定住率や移住者数の向上となる制度整備を行う。 【ソフト事業経費】 ○認知獲得に向けた戦略的アプローチ ・プロモーション経費（委託料）15,000千円 ○交流人口や移住希望者に関する支援 ・市移住定住交流センターの支援機能強化に係る経費（委託料）5,960千円 ・柑橘就農を希望する移住者に関する支援(補助金)960千円 ・移住体験施設や教育移住希望者の住環境の整備に係る支援(補助金)2,000千円 ○企業と若者の意識改革に関する支援 ・中学生向け合同説明会の開催事業費 144千円					  移住定住交流センターによる 地域おこし協力隊や移住者に 対する支援 中学生向けの企業説明会	
地域の多様な 主体の参画	愛媛大学や市内27の地域づくり組織と一緒に、地域の魅力や課題を研究し、地域の魅力発信、課題の提言などを整理しながら、事業内容に反映させる。 また、市民1人1人が自らの口で市の魅力を語れることが、対外的に大きなプロモーションにつながることから、地元ケーブルテレビ局がプロモーションの伴走役を担う。					KPI	①市内への移住者数（+27人） ②地域おこし協力隊の市内定住率（+9%） ③西予市で働くことに興味をもったと回答した生徒割合（+20%） ④西予市の観光情報が網羅されているサイト「せいよじかん」PV数（+102,000回）

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値